科目ナンバリング	G-LAS11 80017 LJ55						
授業科目名 <英訳>	数学・数理科学グローバル講義II Global Lecture on Mathematics and Mathematical Science II			担当者所属 職名・氏名	理学研究科　教授　　前川　泰則		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	自然科学系		使用言語	日本語	
旧群		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・ 後期集中	曜時限	集中	配当学年	大学院生	対象学生	理系向

（理学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

本科目では、理学研究科数学・数理解析専攻と数理解析研究所が共同で主催する「数学・数理科学グローバル特別講義」シリーズとして実施される複数の集中講義の中から、学生がいずれか一つを選んで履修する。各「数学・数理科学グローバル特別講義」は、代数・幾何・解析・応用数学など数学・数理科学の諸分野で特に目覚ましい発展をとげている研究について、第一人者の研究者が簡単な背景から将来の展望にいたるまでを入門的に解説する集中講義である。なお、「数学・数理科学グローバル特別講義」の講師の多くは海外研究者である。

数学はその普遍的な性質により、自然科学は勿論のこと、情報科学や社会科学など多くの分野に共通する理論的基盤となっており、現在でも新たな理論が次々と生まれている。本科目は、数学・数理科学の様々なテーマに触れることで諸分野における数学のポテンシャルを知る機会を提供し、数学・数理科学を基盤とする分野の大学院生の視野を広げるとともに、研究へのモチベーションを高めることを目的とする。

※本科目は隔年で開講され、偶数年度に開講、奇数年度に不開講となる。

[到達目標]

特別講義で扱われるテーマについて、その背景と将来の展望について理解するとともに、そこで展開される数学に関する知見が深まる。また、学生自身の研究に対するモチベーションが高まる。

[授業計画と内容]

理学研究科数学・数理解析専攻と数理解析研究所が共同で主催する「数学・数理科学グローバル特別講義」シリーズのうち、後期に開講される特別講義の中からいずれか一つを学生自らが選んで受講する（注1）。各「数学・数理科学グローバル特別講義」は8コマからなる集中講義であり、数学・数理科学の諸分野で近年発展している研究について、第一人者の研究者がその背景や他分野との関わりから今後の展望にいたるまでを俯瞰的・入門的に解説する。学生は講義に出席するとともに、集中講義期間中に提示されるレポート課題にも取り組む。特別講義の講師が海外研究者の場合、その講義は原則として英語で行われる。

（注1）2023年度後期には以下の講師による複数の集中講義を「数学・数理科学グローバル特別講義」シリーズとして開講予定。

講師：Fei Han（National University of Singapore、微分幾何分野）
講師：Lesley Ward（University of South Australia、調和解析・応用数学分野）
講師：赤木剛朗（東北大学、PDE分野）

各「数学・数理科学グローバル特別講義」の日程、内容、受講登録方法については、後日掲示やKULASIS，PandA等で連絡する。また、本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コ

数学・数理科学グローバル講義II(2)へ続く↓↓↓

数学・数理科学グローバル講義II(2)

ース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目であり、本科目で受講対象となる「数学・数理科学グローバル特別講義」の詳細はコースwebサイトにも掲載する。

（注2）同期開講の複数の特別講義を履修しても、本科目の習得単位は1単位であるので注意すること。

[履修要件]

各自が選択する「数学・数理科学グローバル特別講義」で扱われるテーマについては関係分野に関する学部レベルの数学的知識があることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

各自が選択した「数学・数理科学グローバル特別講義」への出席（50%）とレポート課題（50%）により総合的に評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

選択した特別講義に関係する数学的な内容について各自で学習すること。

[その他（オフィスアワー等）]

本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目であるが、コース履修に関わらず本科目のみ履修することも可能である。

[主要授業科目（学部・学科名）]